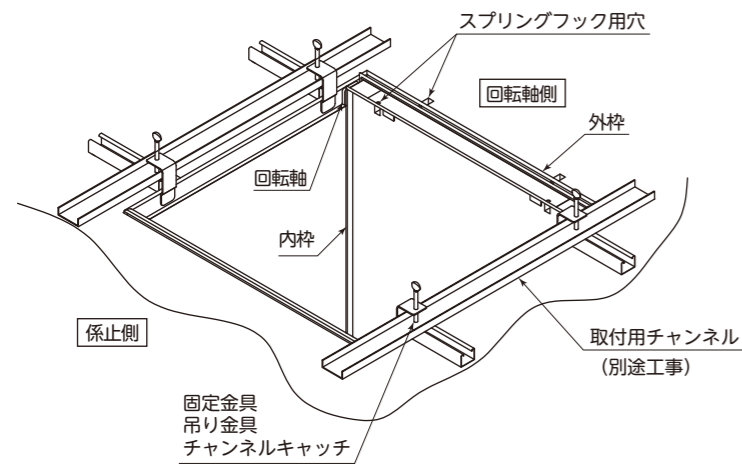


スプリングフック取付位置対応表

施工方法：X

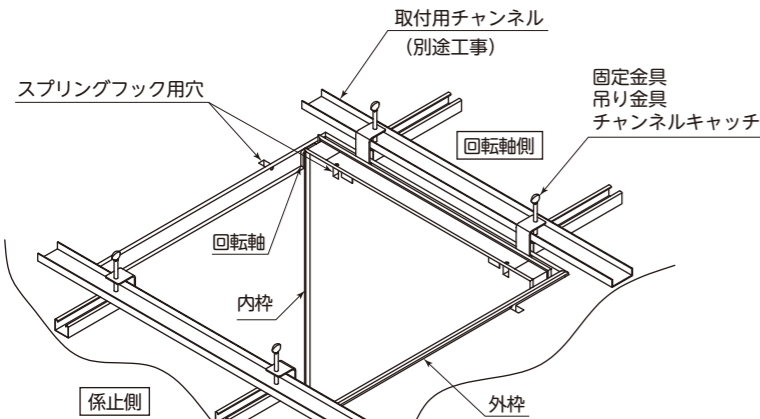
参考タイプ：OPHII



スプリングフック取付位置				
外枠	回転軸側	回転軸側	側面	側面
内枠	回転軸側	側面	回転軸側	側面
OPHII	○	×	×	×
SEII	○	×	×	×
SD	○	×	×	×
GMI	○	×	×	×
GS	○	×	×	×
MMHII	×	×	○	×
MMII④	×	×	○	×
NT	○	×	×	×
AT	○	×	×	×
AS	○	×	×	×
NKT	○	×	○	×

施工方法：Y

参考タイプ：OPHII



スプリングフック取付位置				
外枠	回転軸側	回転軸側	側面	側面
内枠	回転軸側	側面	回転軸側	側面
OPHII	×	×	○	×
SEII	×	×	○	×
SD	×	×	○	×
GMI	×	×	○	×
GS	×	×	○	×
MMHII	×	×	○	×
MMII④	×	×	○	×
NT	×	×	○	×
AT	×	×	○	×
AS	○	×	×	×
NKT	○	×	○	×

お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

ナカ工業株式会社

URL <https://www.naka-kogyo.co.jp>

ナカテクノタタル株式会社

URL <https://www.naka-techno.co.jp>



携帯のカメラで左のQRコードを読み取りアクセスしてください。

施工マニュアル

施工業者様用

天井点検口

内枠落下防止ワイヤー (L=175mm)

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

⚠️ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表記の例

❗ ● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

はじめに

この施工マニュアルは、内枠落下防止のオプション部品についてご使用いただくためにまとめたものです。ご使用前には必ずこの施工マニュアルの両面をよくお読みの上、取り付けを行ってください。

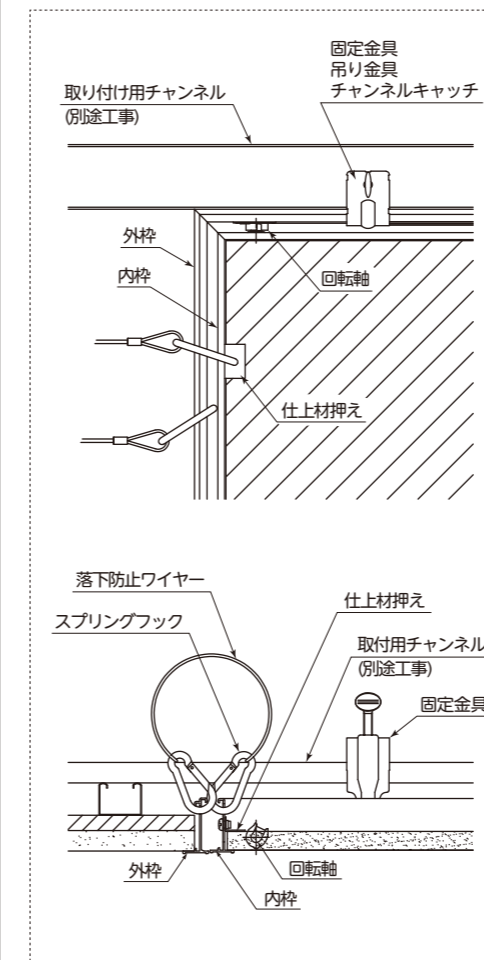
対応機種

本品は、ナカ工業(株)製の天井点検口OPHII、SD、SEII、GMI、GS、MMII④、MMHII、NT、AT、ASタイプにご使用いただけます。他社製品にはご使用できません。

基本納まり (固定金具：吊り金物)

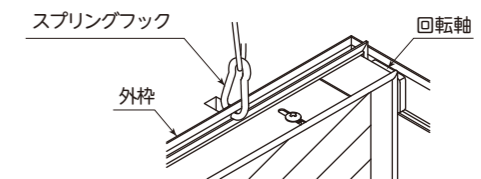
※ここでは各タイプ共通の納まりについて説明しています。

天井材の厚み、取付金具の位置によって各タイプの納め方は異なりますので、次ページの「施工手順」に従ってタイプ別に施工してください。



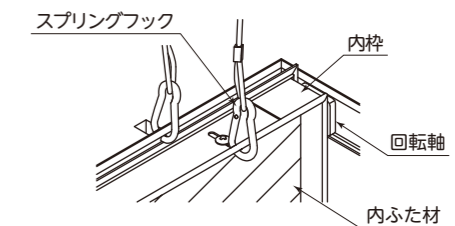
① スプリングフックを外枠へ取り付ける

外枠上端部より約7mmの位置にφ5キリの穴を開け、スプリングフックを取り付けてください。スプリングフックの向きなどの詳細は、次ページを参照してください。



② スプリングフックを内枠へ取り付ける

内枠の長穴部にスプリングフックを取り付けてください。内ふた材の厚みやタイプによって長穴に取り付けできない場合は、別途内枠に穴開け追加加工が必要となります。



③ 開閉動作を確認する

⚠️ 注意

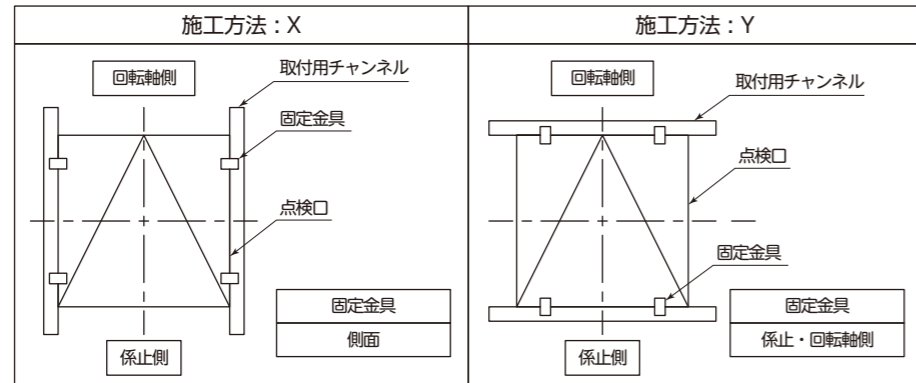
❗ お願い

内ふたの開閉動作に支障がないことを必ず確認してから施工を完了してください。

施工手順

1 点検口のタイプ、固定金具取付位置の確認

落下防止ワイヤーを施工するにあたり、点検口のタイプおよび固定金具の取付位置を確認してください。
本資料では、固定金具を点検口の側面に取り付けた状態を「施工方法: X」とし、固定金具を点検口の係止・回転軸側に取り付けた状態を「施工方法: Y」とします。



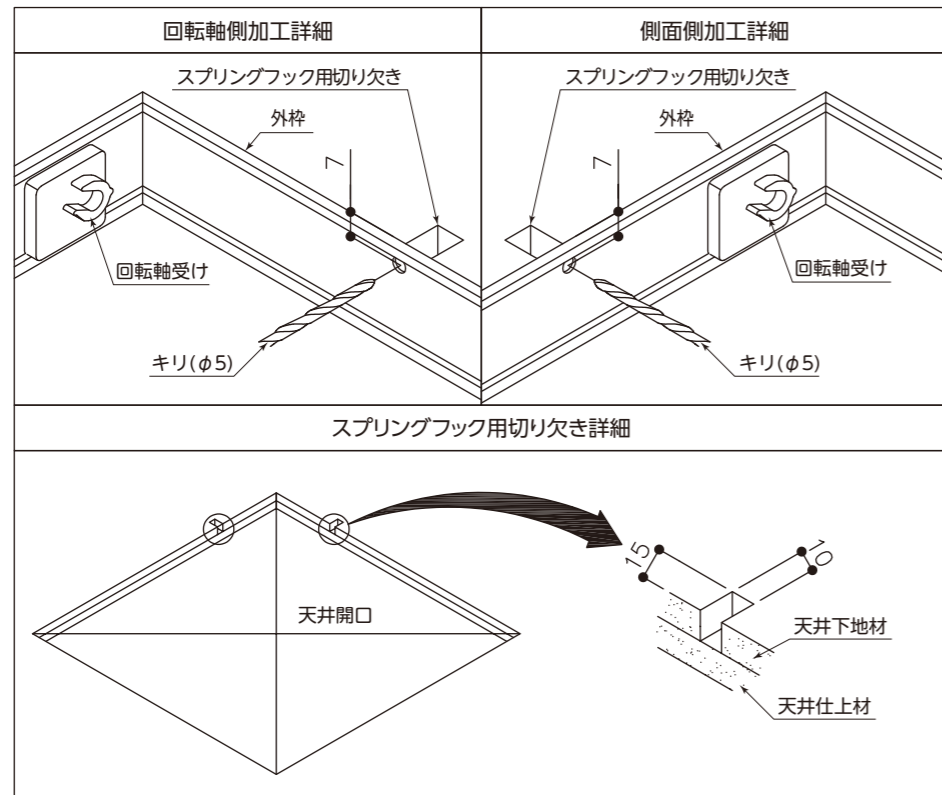
2 外枠のスプリングフック取付穴加工

下表を基に外枠の穴加工面を確認し、外枠の上端部より約7mmの位置にφ5キリの穴を開けてください。穴が天井材に重なる場合は、天井下地材の切り欠き加工をしてください。

※ OPHIIは天井材厚み $t > 21$ mm、NTは天井材厚み $t > 20$ mmのとき、切り欠きが必須となります。
他タイプについては天井材厚み $t \leq 25$ mmまでは切り欠き不要ですが、それ以上の厚みの場合は都度確認が必要となります。

タイプ	施工方法	外枠加工面
OPHII、SEII、SD、GMII、GS、NT、AT	X	回転軸側
	Y	側面
MMII①、MMHII	XY共通	側面
AS		回転軸側
NKT		回転軸側、側面側共に可

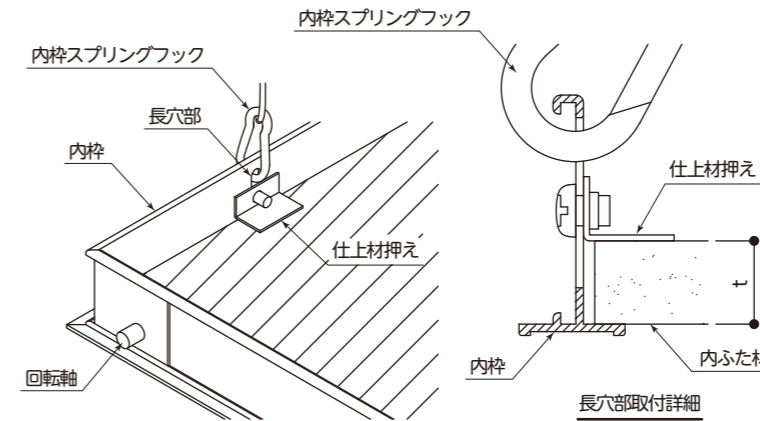
タイプ	切り欠き必須天井材厚み (mm)
OPHII	$t > 21$
NT	$t > 20$
その他	$t \leq 25$ まで不要 $t > 25$ …都度確認



施工手順

3 内枠のスプリングフック長穴取付の確認

仕上材押えを固定している長穴にスプリングフックが取り付け可能か確認してください。内ふた材の厚みやタイプによって長穴に取り付けできない場合は、下記のように穴あけ追加が必要となります。
※ GMII、NKTについては、スプリングフックの長穴取付は不可となります。

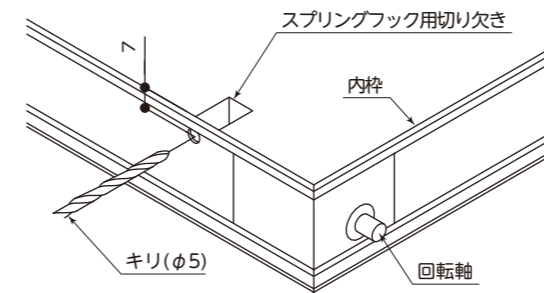


タイプ	長穴対応内ふた材厚み (mm)
OPHII、SEII、SD、GS	$t \leq 22$
NT	$t \leq 21$
MMII①、MMHII、AT	$t \leq 18$
AS	$t \leq 16$
GMII、NKT	長穴使用不可

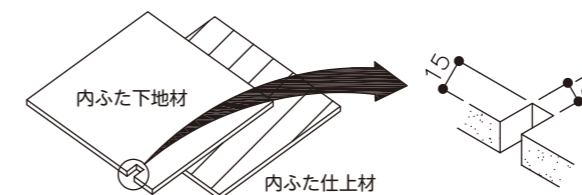
4 内枠のスプリングフック取付穴追加加工

スプリングフックが内枠の長穴に取り付けできない場合は、内枠回転軸側の上端部より約7mmの位置にφ5キリの穴を開けてください。
OPHII、SEII、SD、GSは内ふた材厚み $t > 21$ mm、NTは内ふた材厚み $t > 20$ mmのとき、内ふた下地材に切り欠き加工してください。

回転軸側追加加工詳細



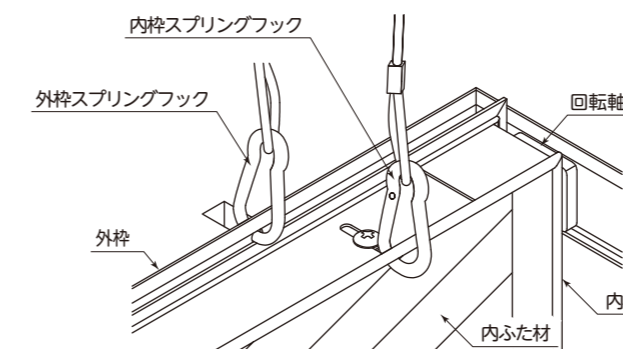
お願い 内枠のスプリングフック取付位置を確認してください。回転軸側へのみ取付が可能です。



タイプ	切り欠き必須内ふた材厚み (mm)
OPHII、SEII、SD、GS	$t > 21$
NT	$t > 20$

5 スプリングフックの取付、開閉動作の確認

外枠、内枠へスプリングフックを取り付け、内ふたの開閉動作に支障がないか確認してください。



注意

お願い 内ふたの開閉動作に支障がないことを必ず確認してから施工を完了してください。

